

標記病院争議ニ関し其後ノ状況左記、通ニ有之自然消滅ト認め
ラル

記

一病院側ノ対策

病院側ニ於テハ最田院長ヨリ看護婦其他ノ代表ニ對シ言
明セル如ク賞典ニ代ル他ノ名目ニテ給典スヘク發表セシカ不
未至費其他ヲ考慮シタル結果七月三日慰勞金トシテ左記、如
ク給典セリ

看護婦 最高賞拾八圓 最低拾参圓

全講習生 拾壹圓(二年モ) 八圓(一年モ)

雜使婦 拾圓(年限長短ニ拘ニス均等)

因ニ賄部従業員ハ財團法人好仁會ノ至營ニ付病院トシテ關係
ナシ

前報ノ如ク看護婦全講習生及雜使婦好仁會賄部従業員ニシテ
外部ト連絡シ策動セル左翼分子ノ發軔ニヨリ漸次沈靜ノ状態
トナリシカ日本一級使用人組合本部ニテハ大勢ヲ挽回シ争
ヲ継続スル爲メ新メンバーノ獲得ニ當ル所アリ他面別添(内
相閣下)ニ一ノ如キ傳單及帝大分會機關紙「ハニメル」等凡一
ノ號ヲ發行、學生行動隊カシテ院内ニ撒布スル等熾ニ活動
セルモ傳研及小石川分院等ニ於テハ別報ノ如ク未々賞典ヲ支
給シ其他ノ事項ニ付テモ交渉ノ結果同滿解決セル爲メ(分院
ハ漢類書等呈出セズ)終熄ノ状態トナリタルヲ以テ以來共同
争議委員會ヲ解散ノ已ムナキニ至リ且ハ帝大分會外部責任者
タリシ小野トト松島羊一郎ノ發軔ニヨリテ計畫セル七月七
日公判争議日ヲ期シ院内ニ於テ岩崎八重子(六月二十五日自
殺セルモノ)ノ葬式ヲモ敢行シ以テ本争議ノ打切り策トセル
モ之又實現スルニ至ラズル等各種ノ策謀ハ瓦解ニ似テタルヲ以